

な るほど その3 本願寺

対面所(鴻の間) 203畳敷きの大広間。
上下段の境の欄間(らんま)に雲中飛鴻の彫刻
があるので鴻の間ともいいます。上段の床には
張良が四賢人を率いて恵帝に謁する図が逆遠
近法で描かれています。この障壁画は狩野派の
渡辺了慶筆。華麗で重厚な趣が深い間です。



対面所

© Hongwanji



雁の間

© Hongwanji

雁の間

襖と壁面には飛翔する雁の群れや水辺に
遊ぶ雁を描いて、秋の風趣を表していま
す。また隣接する菊の間との間の欄間
には雁を透し彫りにし、隣室の月が眺めら
れます。

住職シター

平成七年(二十二年)前住職継承時、①文書伝道
(寺報・年間パンフレット)、②インターネット構築
(ホームページ開設・メールで法事依頼)、③永代
供養墓苑の開山、この三つを目標に掲げました。
文書伝道とホームページは直ぐに目標を達成し、
寺報は毎月発行で今月は二六二号、善教寺ホームペー
ジも更新中です。そしてようやくこの度、念願の善教寺
墓苑を開山することが出来ました。

昨年(平成28年)の秋頃より墓苑造成工事に入り、先日(八月七日)
孟蘭盆会法要の昼席終了後、善教寺墓苑開山慶讃法要
をお勤め致しました。

墓苑内はバリアフリーで、
車椅子でもお参り可能です。
夜のお参りが素敵な雰囲気にな
るよう、アプローチライト
が点灯しております。



シンボリックな永代合葬墓の南無阿弥陀仏の六字名
号は、親鸞聖人の御真筆です。『浄土と縁を結ぶ』をコン
セプトにした善教寺墓苑、お参りされたら、親鸞聖人に
もお会い出来
るかもしれま
せんよ。
素敵な墓苑
が開山できま
したので、ぜひ
お参りしてみ
て下さいね。



写真はすべて善教寺墓苑開山慶讃法要の様子